

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 食品環境研究センター・センター長	氏名	若林 敬二
	研究分担者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	三浦 進司
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	雨谷 敬史
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	市川 陽子
	発表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 食品環境研究センター・センター長	氏名	若林 敬二

講演題目	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【目的】食品環境研究センターは、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進を目指して、「食と健康」や「環境と健康」に関連した研究とともに地域の人達への教育・啓発活動などを行っている。</p> <p>【成果】令和4年度に実施した主要な事業及び成果を以下に示す。</p> <p>■ 研究活動</p> <p>1. 地域における健康に資する食品および環境に関する情報提供、及び教育、啓発活動 静岡県特産の農水産物、加工食品等の機能性についてシステマティックレビューを行い、それらの成果を整理して消費者庁に届出を行い、地域の食品産業の活性化に寄与した。尚、茶カテキン、DHA・EPA、GABA、イヌリン、スルフォラファングルコシノレート、及びプラズマローゲン等を含む30数件の機能性表示食品について既に消費者庁のHPに公開されている。更に、これら機能性表示食品の資料は、健康食イノベーション推進事業の支援のもとで作成した機能性食品素材データベースにまとめられ、本学が中心となり研究を進めている、その他の食品の機能性素材情報と共に本学健康食イノベーション推進事業HP上に公開されている。又、公開講座、講演会等を行い、地域における健康福祉の向上に資する教育・啓発活動を実施した。</p> <p>2. 2022年度 発表論文7報、学会発表10回</p> <p>■ 公開講座・講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若林敬二：「機能性表示食品のシステマティックレビュー（SR）について」、公益財団法人静岡県産業振興財団、総合食品学講座（静岡市）、2022年8月4日 ・若林敬二：「がんについての基礎知識 ― がん検診受診の有効性 ―」、がん予防講演会（長泉町）、2022年11月24日 ・若林敬二：「がんについて考える ～ コロナ禍でもがんは休まない がんは早期発見が大切 ～」、がん予防講演会（伊東市）、2023年2月20日 <p>■ 教育・啓発活動</p> <p>各研究室又はグループが中心になり行った活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオぱく食の探検隊、第2回「親子でつくろう・学ぼう ジビエでアスリートめし」、静岡ガス エネリアショーрум柿田川、2022年8月11日 <p>【今後の展望】センターの事業は、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進に一定の貢献をしたものと考えられる。本県の農林水産物は極めて豊富であり、数・量ともに食材の宝庫、いわゆる「食材の王国」である。これらの食材には健康長寿への貢献が期待され、産業の進展および地域における健康福祉の向上の両観点から、更なる研究の推進と知識の普及が求められている。</p>